



【茨城県】

<学校教育推進の重点>
 「すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり」
 ・カリキュラム・マネジメントの確立
 ・未来を拓く学びの展開
 ・安心して学べる環境の保障

吾妻学園 教育理念(ミッション)

学園教育目標

「一人残らず幸せになれる学校」の実現
 Happy School for All
 (A school where everyone can be happy)

【つくば市】

<市の教育 最上位目標>
 「一人ひとりが
 幸せな人生を送ること」
 ① 教えから学びへ
 ② 管理から自己決定へ
 ③ 認知能力偏重から
 非認知能力の再認識へ

目指す学校

- ・「安心」と「夢中」がある学校
- ・「つながり」を大切にす学校

目指す生徒の姿

- ・居場所があり、安心できる(自分らしくいられる)
- ・分かった・できた・もっとやってみたいがある
- ・やりたいことに夢中で取り組む(学び続ける・楽しさ)
- ・他者の違いを尊重し、つながり、支え合える
- ・他者のためになることを考え、実行できる(貢献)

目指す教職員

- ・子供の事実が見える。
- ・子供に寄り添える。
- ・専門家として、自ら学び続ける。(自ら求める研修へ)

組織目標 年間の重点

- ◆ 「一人残らず幸せになれる学校」の実現に向けて、支え合い、学び続けよう
- 1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくりを通して(聴く・選択・探究・ICT・基礎基本)
- 2 一人一人の違いを認め合い、お互いに支え合う集団づくりを通して(居場所・安心・自己肯定感・自己有用感)
- 3 お互いに尊重し合い、支え合い、学び続ける組織づくりを通して(働きがい・働きやすさ・成長)

生徒会 スローガン

「橋 ~BRIDGE~」生徒会が生徒同士や、生徒と先生をつなぐ架け橋に
 ・困難な障害を乗り越える生徒 ・生徒主体 ・先生と生徒がつながる学校
 ・つなげる=橋を渡って新しい場所へ=挑戦 ・人と人をつなぐ生徒会

【学校経営の重点】

学校経営ビジョン

- 1 小中一貫校の強みを活かす吾妻学園の教育課程の創造**
 ・学園の目標に向け、9年間のつながりで子供を育てる。(授業改善・グループワーク・探究・ルールメイキング・地域連携等)
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくり**
 ・「聴く」を基盤とした、ペアやグループ、全体による聴き合い学び合う学び(協働的な学び)のある授業
 ・「自分で選択できる」(自己決定)環境がある授業や、探究の要素がある学び(問いや、学び方の選択等)
- 3 つくばスタイル科における「探究する力」の育成**
 ・自ら問いを立てる、発信型PBL学習の導入(学び推進訪問を活かした取組)
 ・研究部のリーダーシップによる「探究」カリキュラムの創造
- 4 先進的ICTを活用した学びと校務での活用**
 ・「協働的な学び」と「個別最適な学び」を実現するための効果的な活用
 ・Teams等を活用した校務の効率化と、子供と向き合う時間の確保(働き方改革)
 ・時間を生み出す工夫による超過在校等時間45時間以内の達成および月2回の定時退勤日の実施
- 5 安全・安心な学校づくりの推進**
 ・ピア・サポートやグループワークによるつながり、支え合う人間関係づくり
 ・通学路・施設の安全確保(点検等)の徹底、リスクマネジメントやコンプライアンスの徹底
- 6 働き方改革の推進と、教職員の資質向上(人財育成)**
 ・休憩時間の確保や、余裕を生み出す工夫による超過在校等時間45時間以内の達成
 ・Plant活用と自ら求める研修の充実
- 7 「ともに子供を育てる」をテーマとする学校支援体制や地域との連携の充実**
 ・CSやPTAの充実と、協働による学校経営 ・地域リソースの活用

「ともに子供を育てる」をテーマとする、「PTA」と「CS」を核とした学校支援体制の充実

- <PTAとコミュニティ・スクール協議会の運営>
- 地域やPTA・CS協議会・地域学校協働活動・おやじの会 との密な連携(人材確保・学校だより)
 - 保護者同士のつながりを創り、小中の連携、ボランティアによる支援の充実
 - 児童生徒が安心して生活できる環境づくり(通学路等の安全確保、環境整備(除草)、学習支援等)
 - 児童生徒が社会とつながり、地域に貢献できる場の設定や活動の協力